



こちらからも
アクセスできます

主な内容

- ◆議案審議 1・6面
- ◆一般質問 2・3・4・5面
- ◆議会の動向 3面
- ◆陳情・意見書 7面
- ◆審議結果一覧表 8面
- ◆第3回(9月)定例会日程 8面

議会だよりへの意見をお待ちしております



第2回(6月)定例会

中学校完全給食の実施に向けた 学校給食センター設置条例を可決

第2回(6月)定例会は、6月3日から6月22日までの20日間の会期で開催されました。
この定例会では、条例の制定や一部改正など市長提出議案等20件(うち、報告7件)のほか、議員提出議案1件、委員会提出議案1件などを審議しました。

議案審議

(議案審議は6面にも掲載)

令和3年12月からの開始に向け 学校給食センターの設置などを規定

議案第35号 秦野市学校給食センター設置条例を制定することについて

▼要旨

令和3年12月から開始する中学校完全給食の実施に合わせ、学校給食センターを設置することについて必要な事項を定めるため、制定するもの。
なお、この条例は、教育委員会規則で定める日から施行するもの。

▼付託委員会
文教福祉常任委員会

新たに車両を配置し 地域消防力を強化

議案第40号 動産の取得について

▼要旨

消防署鶴巻分署にポンプ付救助工作車1台を購入するもの。
▼付託委員会
総務常任委員会

▼委員会での主な質疑・要望

問 積載する救助資機材などにより車両の価格が変わることであるが、他の消防ポンプ車や救助工作車と比べて新たに配置する車両の価格はどのようか。
答 車体価格の上昇や救助資機材の増強により消防ポンプ車と比べ高額だが、車体の規格が小さく、資機材の積載数が少ないことから、救助工作車と比べ安価である。
要望 消防と救助の双方に活用できるという車両の特徴を生かし、地域の消防力強化に努めてほしい。
▼本会議での反対討論
四輪駆動にするべきであり、職員



ポンプ付救助工作車 (写真は、消防署南分署に配備されている車両)



学校給食センター完成イメージ

▼委員会での主な質疑

問 学校給食センターに、学校給食センター長、その他必要な職員を置くことであるが、配置される職員の担う役割はどのようか。
答 責任者としてセンター長、献立作成や食材の発注を行う栄養士、学校給食費の徴収管理などを担う事務職員を配置し、小・中学校の給食に関する事務を行う。
問 生徒や多くの市民に親しまれる施設とするための愛称の募集について、今後の進め方はどうか。

答 500件以上の応募があり、現在、最終選考を行っている。愛称の決定後は、パンフレットへの掲載などを通じて広くPRしたい。
▼本会議での賛成討論
運営に必要な財源は、ごみの減量などによる確保が見込まれ、引き続きの努力を要望し賛成する。

▼採決の結果
委員会 原案可決(賛成全員)
本会議 原案可決(賛成全員)

永年勤続議員表彰

○高橋文雄議員(勤続40年以上)
昭和9年生まれ。当選11回。自由民主党。議長、監査委員、秦野市伊勢原市環境衛生組合議会議長などを歴任。大秦町在住



高橋文雄議員

○吉村慶一議員(勤続25年以上)
昭和30年生まれ。当選7回。無所属。建設水道常任委員会委員長、文教福祉常任委員会副委員長などを歴任。南矢名在住



吉村慶一議員

○風間正子議員(勤続25年以上)
昭和21年生まれ。当選7回。無所属。議長、監査委員、秦野市伊勢原市環境衛生組合議会議長などを歴任。波沢在住



風間正子議員

ポップアップ噴水へレッツゴー!! (撮影者・小泉一宏さん)